

2025 年 1 月 16 日
放射線医学県民健康管理センター

福島県政記者クラブ加盟社 各位

2025 年 福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム 「ふくしまの経験を未来へ：健康増進と災害対応」を開催します

1. 開催趣旨

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター（以下「当センター」）では、県民健康調査（※）に関する最新情報の国内外への発信と、国内外の専門家等参加者との議論を通じて、調査から得られた科学的知見の新たな展開を目指すとともに、その成果を世界的に共有することで県民の健康の維持・増進に役立てることを目的として、国際シンポジウムを開催します。

※**県民健康調査**とは、福島県が 2011 年から福島県立医科大学に委託して実施している健康調査です。その目的は、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることです。

この調査は、空間線量が最も高かった時期の放射線による外部被ばく線量を推計する「基本調査」と、詳細調査と位置づけている 4 つの調査（「甲状腺検査」、「健康診査」、「こころの健康度・生活習慣に関する調査（ここから調査）」、「妊産婦に関する調査」）から構成されています。

2. プログラム概要

7 回目となる今回は、県民健康調査から得られた成果等を発表するこれまでのスタイルに加えて、県民の皆さまが必要とする情報をよりわかりやすくお伝えする「県民公開講座」の要素を取り入れました。

国内外から 7 名の専門家が参加し、前半では、県民健康調査から得られた科学的知見等を最新の情報も含め紹介します。後半の「県民公開講座」は、震災や原発事故を経験した県民の皆さんが知りたい又は知っておくと役立つであろう情報等を取り上げ、一緒に考えていただく企画にしました。なお、「県民公開講座」は、学生やお勤め帰りの方にも参加いただけるよう夕方の時間帯としております。

まず、**オープニングセッション**では、安村誠司・当センター長が「福島県「県民健康調査」の概要」と題し、調査の全体像をわかりやすく説明します。

基調講演では、国立台湾大学医学部救命救急科の鄭銘泰（チェン・ミンタイ）臨床講師が「台湾における原子力災害医療と対応」と題して発表します。

セッション 1「県民健康調査の成果を次世代につなぐ」では、県民健康調査（甲状腺検査、こころの健康度・生活習慣に関する調査（ここから調査）、健康診査）の各担当教員等から、調査から得られた成果等について詳しく発表します。

セッション 2「県民公開講座」では、本学産科婦人科学講座の藤森敬也主任教授が「みなさんご存じですか？流産のこと、先天異常のこと」と題してクイズなども織り交ぜながら、また、本学放射線健康管理学講座の坪倉正治主任教授が「災害「後」の健康を守る」と題して、震災後の対策の進化と今からできる備えについて発表します。

なお、今回のシンポジウムは、福島県、環境省などの関係省庁、県内関係団体などの後援により開催します。

3. 主催

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

4. 日時・場所

令和7年2月20日(木) 13:30~17:55
福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール
(福島県福島市栄町 10-6)

5. 対象

一般の方、保健・医療従事者、学生、行政関係者等どなたでもご参加頂けます。

6. 開催方式

会場参加とオンライン (Zoom) 視聴を併用した「ハイブリッド方式」にて開催します。
全ての発表は、同時通訳により、日本語と英語の2言語でお伝えします。
後日、このシンポジウムの講演などはオンデマンド配信します。

7. 定員

75名程度 (先着順)
※定員に達した場合は、オンライン視聴 (Zoom) をご案内します。
※会場参加・オンライン視聴 (Zoom) とともに事前申込制です。

8. 申込方法・締切

参加費は無料です。
申込締切：令和7年2月14日(金)
申し込みはこちらから ↓
【センターホームページ URL】
<https://fhms.jp/symposium/2025/>



なお、FAXでも受け付けています。紙のチラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入し、024-581-5457へ。

9. プログラム詳細

別紙のとおり

10. 当日の会場取材のお申込み

当日、貴社のご取材を賜りますよう、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。
取材のお申込みは事前にセンターホームページからお受けいたします。
申込締切：令和7年2月14日(金)

<お問い合わせ先>

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
健康調査課 広報・国際連携室 担当 橋本、大野、阿部
[TEL: \(024\) 581-5454](tel:0245815454) / [FAX: \(024\) 581-5457](tel:0245815457)
e-mail : kenkani@fmu.ac.jp



別紙 プログラム詳細 (なお、演題については変更となる場合があります。)

オープニングセッション

- 司会 ノレット・ケネス (福島県立医科大学 当センター 教授)
主催者挨拶 竹之下誠一 (福島県立医科大学 理事長兼学長)
挨拶 福島県 (予定)
座長 大戸 斉 (福島県立医科大学 副学長、当センター総括副センター長)
講演 安村誠司 (福島県立医科大学 当センター長)
演題：福島県「県民健康調査」の概要

基調講演

- 座長 島袋充生 (福島県立医科大学 当センター健康調査基本部門長、同健康増進センター長、同医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座 主任教授)
講演 鄭 銘泰 (国立台湾大学 医学部救命救急科 臨床講師)
演題：台湾における原子力災害医療と対応

セッション1「県民健康調査の成果を次世代につなぐ」

- 座長 志村浩己 (福島県立医科大学 当センター副センター長兼甲状腺検査部門長、同医学部臨床検査医学講座 主任教授)
堀越直子 (福島県立医科大学 当センターこころの健康度・生活習慣調査支援室副室長)
講演 鈴木 聡 (福島県立医科大学 当センター甲状腺検査業務室副室長、同医学部甲状腺内分泌学講座 准教授)
演題：甲状腺検査の現状とこれから
講演 及川祐一 (福島県立医科大学 当センターこころの健康度・生活習慣調査支援室 助手)
演題：新型コロナウイルス流行の影響について ここから調査と電話支援から
講演 平井裕之 (福島県立医科大学 医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座 博士研究員、白河厚生総合病院第三内科副部長)
演題：健康診査 13年でわかったこと

ディスカッション

セッション2「県民公開講座」

- 座長 大平弘正 (福島県立医科大学 理事 (県民健康担当) 兼副学長 (県民健康担当)、同医学部消化器内科学講座 主任教授)
講演 藤森敬也 (福島県立医科大学 当センター妊産婦調査室長、同医学部長、同医学部産科婦人科学講座 主任教授)
演題：みなさんご存じですか？流産のこと、先天異常のこと
—県民健康調査・妊産婦調査結果もお話しします—
講演 坪倉正治 (福島県立医科大学 当センター健康コミュニケーション室長、同医学部放射線健康管理学講座 主任教授)
演題：災害「後」の健康を守る：震災後の対策の進化と今からできる備え

以下の写真をご用意しております。画像電子データを御入用の方は、<お問い合わせ先>にご連絡ください。

